

**令和5年度 第2回八戸地域広域市町村圏事務組合
一般廃棄物処理施設整備方針検討委員会**

日時：令和5年8月24日（木） 9時25分～

場所：青森市清掃工場（青森市鶴ヶ坂早稲田 241-1）、
ECO プラザ青森（青森市戸門山辺 50）

※今回は視察をもって検討委員会の会議に代えた。

出席者：委員 6名

田中委員、千葉委員、金子委員、李委員、守田委員、庄司委員
（※欠席2名：佐藤委員、渡辺委員）

広域組合構成市町 6名

八戸市（環境政策課 早狩市民環境部次長兼課長、清掃事務所 高館副所長、飯塚収集GL）、階上町（町民生活課 細越主事）、南部町（住民生活課 夏堀課長、小ヶ口主幹）

事務局 4名

清掃工場（大坂工場長、市川室長）、リサイクルプラザ（田茂所長、中村技師）

次第：

1. 開会
2. 視察 青森市清掃工場（青森市鶴ヶ坂早稲田 241-1）、
ECO プラザ青森（青森市戸門山辺 50）
3. その他
一般廃棄物処理施設整備に係る建設候補地調査業務委託の契約について
4. 閉会

次第 開会

事務局：定刻となりましたので、ただ今から、令和5年度第2回八戸地域広域市町村圏事務組合一般廃棄物処理施設整備方針検討委員会を開催いたします。

本日は、一般廃棄物処理施設整備方針検討委員会規則第2条第2項により委員の半数以上の出席が必要であり、委員8名のうち6名が出席されておりますので、会議が成立しておりますことを御報告いたします。

続きまして、本日使用する資料の確認をお願いいたします。

次第、出席者名簿、視察先基本情報、及び行程表でございます。資料がない方はございませんでしょうか。

本日の進行についてですが、視察のほかは報告が1件のみのため、事務局から報告

させていただきます。

まず、視察先の基本情報ですが、視察理由は、一般廃棄物処理施設整備基本構想で想定している新たなごみ処理施設の規模及び機能に類似した比較的新しい施設である青森市清掃工場や、民間企業（ECO プラザ青森）を活用して資源物の選別・圧縮梱包を行っている事例を学び、当広域の新たなごみ処理施設の設置イメージとプロセス並びに民間活用のイメージをより明確につかむためであります。

次に、視察先の情報ですが、青森市清掃工場は、テーマを建設の経緯を学ぶ、としており、事業主体は青森市、建設期間は平成 24 年 4 月から平成 27 年 3 月までの 3 年間、敷地面積は 51,000 平米と広く、建築面積は 8,008.38 平米、建築構造は地下 1 階、地上 6 階、建物高さ 30m、鉄骨鉄筋コンクリート造、煙突 59m、処理対象物は可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、下水汚泥、し尿汚泥等、処理能力は、可燃ごみ処理施設が流動床式ガス化熔融炉 300 t / 日、150 t / 日 × 2 炉、破碎選別処理施設が一次・二次破碎選別方式 39.8 t / 5h となっております。

ECO プラザ青森は、テーマを民間事業者を活用したかん・びん・ペットボトル及び容器包装プラスチックの処理を学ぶ、としており、事業主体は株式会社青南商事のグループ企業である株式会社青南 RER、開設時期は平成 14 年 2 月、資源物処理ラインは缶・ペットボトル選別ライン、びん類選別ライン、その他のプラスチック選別ラインとなっております。

最後に、その他として、一般廃棄物処理施設整備に係る建設候補地調査業務委託の契約について報告いたします。契約日は令和 5 年 6 月 26 日、契約の相手先は株式会社エイト日本技術開発、契約金額は 17,160,000 円でございます。

以上でございますが、何かご質問等ございましたらお願いします。

（質問等なし。青森市到着後は、青森市清掃工場及び ECO プラザ青森を視察。）